

岡崎民報

13.2.3
No. 1136

岡崎市広幡町一の一
Tel 23の3337
Fax 21の0712
日本共産党岡崎市委員会

今後の市民会館 新文化会館の計画

柴田前市長は、新文化会館建設用地としてセルビの跡地を二カ年かけて9億5600万円で購入する契約をしました。すでに平成24年度で6億6千万円が支払われました。今後、平成25年度分の2億9千万円の支払いをし、解体・地下駐車場埋め戻しが行われます。

新市長は建設に慎重

内田新市長は、昨年12月議会で、「新文化会館建設計画については、財政が逼迫している。康生地域（セルビ跡地）に建設することには駐車場の不足や交通渋滞がある。当面セルビの跡地については、暫定利用の方法を考えていく」と答弁していることから、今後、この地への新文化会館建設は再検討される模様です。

現市民会館の改修 全面改修で25億円

今年11月から来年の3月までの5ヶ月間、現市民会館は、改修工事のため使用ができません。

せん。この改修工事は、当初の新文化会館構想の時に言われていたもので23年度2040万円の予算で設計が行われました。25年度は、電気設備の改修や甲山会館の舞台、市民会館会議棟の雨漏り改修などを

中央総合公園に

第2青い鳥学園移転とユニバーサル公園などを計画

愛知県の第2青い鳥学園（本宿町）は老朽化が激しく、利用者や家族からも改築が求められていました。岡崎市は中央総合公園の一部を提供することを決め、2013年度着工、2015年度開所の予定で移転が進められています。

1月27日の岡崎市都市計画審議会で、新しい青い鳥学園を中央総合公園の北端（図A）に移転するための用地と、その南側にユニバーサル公園（図B）、さらにリサイ

5〜6億円をかけて行うもの

現在の市民会館を延命化するためには、部分改修でも17億円程度、全面改修で25億円程度必要となります。これらの改修により30年近い延命が可能になるとのことです。

現在の市民会館の改修費用と、新たな施設整備に要する経費を比較検討し、経費削減や芸術文化創造拠点としての役割などと併せ、セルビ跡地の利用

クルプラザ北側にデイ・オートキャンプ場（図C）の計画について審議され、全会一致で可決されました。

「ユニバーサル公園」について「障がい者と健常者が交流できるような公園。詳細は今後だが、たとえば車いすでも乗れる遊具などを設置する」との説明がありました。党市議団は、「こ

方法も、市民にとって最善の方法を慎重に検討していくと市長は答弁しています。

市民にとって 使いやすい文化の拠点となる施設を

党市議団は、太陽の城の跡地利用について東岡崎にも近く、公共交通は東西南北どこからも比較的便利であることなどからこの地に新文化会館の建設を要求していますが、市民のみなさん、会館利用者のみ

さんのご意見をお聞きしながら、場所も含めて「市民の目線で使いやすい会館、文化の拠点となる会館」を提案していきます。



岡崎市内で行われる2月の原発・憲法・消費税・福祉などの学習会の計画

- 2月3日（日）核燃・再処理工場の真相（主催：日本キリスト教団岡崎茨坪伝道所）むらさき館 14時～
- 2月9日（土）飯館村写真展（我ら地球人クラブ）ハピネスヒル幸田図書館 ～ 11日（月）
- 2月11日（月）11行動IN岡崎（革新岡崎の会）中電前 11時～